

中国の大学入試に関する“校园标语”の考察

保坂律子・郭雲輝

0. はじめに

中国の大学入試の統一試験（“普通高等学校招生全国统一考试”）は“高考”と呼ばれ、毎年6月に全国一斉に行われる。2023年度の入試は6月7日から2日間にわたって行われ、初日の様子は日本のテレビニュースでも紹介された^{1) 2)}。日本では、中国の大学入試は年に一度の「一発勝負」で受験生にとって苦しく辛いものと思われているが、入試制度や高校生活についてはあまり知られていないように思う。

近年の中国では大学入試直前になると、各地の高校ではさまざまなスローガンが掲げられる。教室の中や校舎の外に掲げられるだけでなく、廊下や寮、運動場にまで掲げる学校もある。それらは奮起を促すもの、びっくり仰天させるもの、いささか暴力的なものなど多種多様である。スローガンは簡潔な文章、明確な意味を持っており宣伝、奮起効果から現代中国人の生活に欠かせないものである。本稿は日本と中国の大学入試制度の違いにふれつつ中国の大学入試に関するスローガンを考察するものである。

1. 日中の大学入試制度

まず、初めに日中の大学入試制度を概観しておく。

1.1 中国の入試制度

中国の新学期は9月1日に始まる。コロナ感染症流行時には実施時期が7月

に変更になったこともあるが、現在の全国統一大学入試“高考”は毎年6月³⁾に行われる。6月7日、8日に行われた2023年度の“高考”受験者数は過去最高の1291万人で、より競争が激しくなった。

中国の全国統一大学入試制度は1952年に正式に制定された。1966年から1976年までの文化大革命の10年間、大学入試の全国統一入試制度は中止され、労働者、農民、兵士のための大学への推薦入学制度に変更された。文化大革命終結後に文化大革命以前の全国統一試験制度が復活し、その後も何度か改革が行われている。

現行の全国統一大学入試では、全受験生が全く同じ問題を受けるというわけではない。教育部試験センター作成の問題、あるいは省・市⁴⁾独自の試験機関作成の問題のいずれかが出題される。また試験科目も“3+X”方式、“3+3”方式、“3+1+2”方式の3方式があり、省・市ごとにいずれかが適用される。各方式の最初の「3」は全受験生必須の国語、数学、外国語の3科目である。“3+X”方式では「3」に加え、文系あるいは理系の総合問題Xを選択する。“3+3”方式では「3」に加え、文系・理系の区別なく3科目選択し受験する。“3+1+2”方式では「3」に加え、文系・理系の区別なく「1」は物理か歴史から1科目選択、「2」は政治思想、地理、化学、生物の中から2科目選択する方式である。これらを合計した総点数が受験生の大学入試の成績になり、この点数を元に志望大学に出願し合否が決まる。正に一発勝負である。基本的に日本の大学のような総合型入試や学校推薦型入試はなく⁵⁾、日本の私大のような2科目、3科目のみの試験科目でかつ複数回受験できるようなチャンスもない。

格差社会の中国でも“高考”で高得点を取れば高学歴の道が開ける。その門は狭く、例えば全国の大学の頂点に立つ北京大学、清華大学の入学者は合わせて約7千人で、今年度受験生1291万人のトップ0.05%ほどしか合格できない計算になる。合格率、一流大学への進学率は高校の担任教師の収入などにも影響を及ぼす。そのため受験生が必死になるだけでなく、その親も教員も“高考”のために能う限りのバックアップをする。

1.2 日本の大学入試制度

日本では4月に新学期が始まるが、入学試験日程はまちまちで入学試験の形態によっては前年の11月頃から始まり、一般入試は入学年の1月、2月にピークを迎える。現在の日本の大学入試形態は大きく分けると一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜がある。

「学校推薦型選抜」は高校長の推薦による受験方法で、受験生を早めに確保したい大学側の思惑もあり近年は裾野が広がり、2022年度入試では私大では約4割が学校推薦型選抜による入学者で、一般選抜と同程度だという⁶⁾。学校推薦型選抜には「指定校制」と「公募制」の2種類があり、指定校制は主に私大で実施される選抜方法で大学が指定した高校の推薦枠に選ばれた生徒のみが受験でき、学内選考を通過すれば二次選考は主として書類審査や面接、小論文であり合格率は高くなる。いずれの場合も学校推薦型入試は高校生活でどんなことを頑張ってきたか、それを生かし大学で何を学びたいか高校生活での努力が評価される受験方法である。

「総合型選抜」は旧AO入試に学力評価が加わったもので、学問への熱意、思考力や協調性を中心に測る入試で出願書類も自由に自己アピールするものが多く、試験内容も面接や小論文、プレゼンテーションなどが特徴である。

学力試験による「一般入試」では多くの私立大学では年明け1月、2月に学部毎に試験日程が組まれるため、受験生は複数大学の受験が可能で同一大学でも複数学部の受験が可能である。また1月中旬には大学入学共通テストが行われ、国公立大学の受験生は志望大学で求められる科目の試験を受験し、2月に志望大学の2次試験を受験する。なお多くの私立大学でも大学入学共通テスト利用の入試も行っている。

2. “高考”制度のメリットとデメリット

2.1 “高考”制度のメリット

1) すべての学生に夢を実現する可能性を与える

“高考”制度が今に至るまで続いている合理性はある。受験生にとっては“高

考”は才能の選抜方法であり、社会階層の流動化を促し、貧しい農村部の学生にも自身の経済的地位を変えるチャンスを与えてくれるものである。

2) 大学生の質のバランスの確保

“高考”はそれぞれの大学への入学者の学力レベルに大きな差が生じないようにコントロールし、上位・中位・下位レベルの大学への入学者のバランスを整える役割を果たしている。

3) 優秀な人材の選抜

社会全体から見れば“高考”の究極の目的と機能は、社会のために人材を選抜し、社会の発展を促進し、個人と社会の進歩に大いに役立つことである。“高考”は条件にかなう優秀な人材を厳格に選抜し、選別することができる。

2.2 “高考”制度のデメリット

1) 一発勝負が受験生に大きな心理的プレッシャーを与える

“高考”の存在によって受験勉強という心理的負担を持たざるを得なくなり、受験生は社会、家族、そして自己の期待から大きなプレッシャーに直面する。そのため入試前に心理的な問題が現れる受験生も出てくる。

2) 一芸に秀でた学生が埋もれてしまう

“高考”自体は最終的に総得点で決まるが、日常生活では特定の科目に偏って勉強する学生も多い。ある特定科目には類まれな才能を持ちながらも、芳しくない科目がある学生にとっては総得点で判断される“高考”制度は不利な面があり、大学で自分の才能を伸ばすチャンスを得られないことになってしまう。

3) 地域や教育資源の差などが存在する

“高考”制度には住んでいる地域差や教育資源の差などで不利な立場に置かれる受験生もいる。地域差とは地域ごとに募集定員があることである。そのため入試成績が同じでも結果がかなり違ってしまふ。たとえば、北京大学は北京から50人、河南省から30人の募集定員だとすると、河南省の受験生は北京の受験生より成績が良くても合格できない状況が発生する。そのため入試でより有利になるよう居住地を移す人も現れる。

また以前と異なり教育部が「負担軽減」を可能にした結果、学校では教えなくなった内容もあり、裕福な家庭の子どもは補修校（塾）に通ってその内容を学べるが貧しい地域、貧しい家庭の子どもは通うお金がないため、受験では不利になってしまう。

3. 中国の“高考”に関するスローガン

ここからは中国の“高考”関連のスローガンから大学入試制度や教育、高校生活、受験生のありかたなどを考察していきたい。

“高考”のスローガンはいくつかのタイプに分けることができる。例えば、謝玲玲 2015ではスローガンをその由来から以下の5つに分類している。

- ① インターネット上の流行語やスラングに由来するもの
- ② 流行りのポップスや映像作品に由来するもの
- ③ 中国の古典や名言に由来するもの
- ④ 学生の奮闘目標によるもの
- ⑤ 勉強、試験態度や方法によるもの

また舒曼 2016では以下の5つに分類している。

- ① “励志型” 奮起型
- ② “拼命型” 命がけ型、体当たり型
- ③ “调侃型” いじり型、からかい型
- ④ “现实型” 現実型
- ⑤ “文艺型” エンタメ型

日本と中国では流行語やインターネット上の情報や社会的背景は異なり、また日本人と中国人では文学的素養も異なる。したがって謝 2015の①、②、③や舒 2016の③、⑤のような分類は日本人が容易に理解できるとは限らない。

そこで本稿では、スローガンを日本人が理解しやすいように以下の4タイプに分けて考察する。

- A ポジティブ、前向き思考型
- B 過激、衝撃型

- C ユーモア、ウィット、仰天型
- D “高考”当日の士気鼓舞型

3.1 A ポジティブ、前向き思考型

大学入試は“戦い”に喩えられ、高校三年生には大きなプレッシャーとなり精神的に緊張し“戦闘準備”状態におかれるため、外部からの励ましが必要となる。このタイプのスローガンには彼らを奮起させ、高い士気を持たせるための目的や対比を使った表現が目立つ。

- 1) 给自己一个目标, 让生命为它燃烧
(自分で目標を立て、そのために人生を燃やそう。)
- 2) 宁吃百日苦, 不留终生憾
(残りの人生を後悔しないためなら、百日間苦しんでもいい。)
- 3) 拼高三一年, 赢无悔人生
(悔いのない人生を勝ち取るために、高3の一年間とことんやろう!)
- 4) 高考不退却, 逆袭全世界
(大学受験から退くことなく、世界と戦おう!)
- 5) 今朝坚韧搏风浪, 明日清北校园聚!
(今は粘り強く荒波と戦い抜き、明日は清華大学・北京大学キャンパスで集まろう!)
- 6) 今天北大在梦里, 明日梦在北大里。
(今日は北京大学の夢を見て、明日は北京大学で夢を見る。)
- 7) 冲刺二白天 卓立巅峰 决战二白天 我必成功
(200日間スパートすれば、堂々と頂点に立てる。
200日間必死に勉強すれば、必ず成功する。)

3.2 B 過激、衝撃型

このタイプのスローガンには、目的を達成しなければ決してやめない、という意味がある。試験会場に向かう受験生自身の決意が固く、全力を尽くすこと

を表明している。しかし「血なまぐさく」、「暴力的」で「過激である」ものがあり、受験生にプレッシャーを与えてしまいがちである。

- 8) 只要学不死, 就往死里学
(勉強して死なない限り、死ぬまで勉強し続けよう。)
- 9) 有来路, 没退路。留退路, 是绝路。拼一个秋冬春夏, 赢一生无怨无悔。
(進路はあるが退路はない。退路を残したら破滅へつながる。
秋、冬、春、夏一年命がけに勉強し、悔いのない一生を勝ち取ろう。)
- 10) 扛得住给我扛; 扛不住, 给我死扛
(我慢できるなら我慢しろ。我慢できないなら死ぬまで我慢しろ。)
- 11) 要成功 先发疯 下定决心往前冲
(成功するには気が狂ってもいい、決意を固めて前に向かって突き進め。)
- 12) 就算撞得头破血流, 也要冲进本科大楼!
(たとえ頭を打って血を流そうとも、大学に突進するのだ!)
- 13) 流血流汗不流泪 掉皮掉肉不掉队
(血や汗を流しても涙は流さない。骨身を削っても脱落はするまい。)
- 14) 提高一分 干掉千人
(一点高く得点して、千人を振り落とす。)

3.3 C ユーモア、ウィット、仰天型

このタイプのスローガンは、人をびっくりさせるような言い方で目をひくが、受験生の緊張をほぐし、少し愉快的気持ちにさせるものである。

- 15) 人丑还不多读书, 哪儿来的自信? 还玩, 说你呢
(顔が不細工なのに、ろくに勉強もしないで、なぜそんなに自信満々なのか? 遊んでいていいのか?)
- 16) 吾日三省吾身, 高否? 富否? 帅否? 否, 滚去学习!
(我、日に我が身を三省す、背が高いか、金持ちか、ハンサムかそうでなければ、すぐ勉強しろ!)

17) 考过高富帅 战胜官二代

(金持ち・イケメンより高得点を取り、役人のボンボンに打ち勝とう！)

18) 不拼高考，你拼得过富二代、官二代吗？

(命がけで受験勉強をせずに金持ち二代目、役人二代目に勝てるのか？)

19) 进清华，与主席总理称兄道弟。入北大，同大家巨匠论道谈经

(清華大学に入学し、主席や総理と兄弟同志になる。北京大学に入学し、偉大な巨匠たちと高尚な話をする。)

20) 睡吧 玩吧 毕业一起收破烂

(眠れ、遊べ、卒業したら「ぼろ集め」だ。)

16) はある生徒が提案しクラスで投票の結果、教室に掲げられたものである。17)、18) “官二代”、“富二代”は、高級官僚や富豪の子弟のことを言う。20) は勉強もせず大学受験にも失敗すれば、「ぼろ集め」の仕事しかないという意味である。

3.4 D “高考”当日の士気鼓舞型

大学入試の2日間多くの家庭から託された受験生への励ましと応援は、社会全体の力となり、人生の重要な節目を迎える受験生への期待を感じさせる。当日の試験会場入り口、沿道やバスなどの受験生の士気を高めるスローガンからも中国における狭き門をくぐる「大学入試」の重要性を窺い知ることができる。

21) 征战高考 凯旋而归

(“高考”で戦い、そして凱旋だ。)

22) 风雨兼程高考路 一战功成展笑颜

(苦楽を共にした大学受験、戦功をあげ晴れやかな笑顔を見せよう)

23) 高考比什么都重要

(大学受験は何よりも大切だ。)

24) 呐，米娜桑♥ 高考干巴爹

(ミナサン♥大学受験ガンバッテ)

(「ね、みなさん、“高考”頑張って」の日本語の音訳)

25) 沉着 冷静 超常发挥 祝全体考生考出好成绩

(落ち着いて、冷静に、実力以上の結果を出そう！ 受験生のみなさんの健闘を祈ります！)

4. “高考”スローガンから見る教育面の問題点

大学入試のスローガンは一種の宣伝手段であり、高校生にとって特別な意味を持つ。良いスローガンは生徒の学習意欲を刺激し、上昇志向を高めることができる。例えば1)である。逆に不適切なものは受験生に心理的プレッシャーをかけ、世界観や価値観を歪める可能性すらある。例えば8)～10)は、すべての時間を勉強のみに注力するよう駆り立て、大学合格がすべてであるかのような誤解を学生に与えてしまうのではないか。毎年大学入試前後に、学生たちが飛び降り自殺を選ぶ誘因になってはいないか？さらに13)、14)は血なまぐさく暴力的であるが、現在の中国の入試制度の弊害を如実に物語っている。それは名門大学の定員には限りがあり、一人の合格は他の一人の不合格を意味するからである。しかしこのスローガンのような主張は明らかに功利主義、個人主義であり、教育本来の意味に反する歪んだ価値観である。

16)、17)、18)は、あたかも背が高く、裕福で、ハンサムとなることが勉強の目的であるかのような。受験生のほとんどが「背が高く、裕福で、ハンサムな人」と競えるとは限らないが、入試がなければその望みもないことは、現代社会の不平等がますます拡大し、社会階層の世代間継承や、階層の固定化の問題も反映している。20)も大学に合格しなければ人から見下される底辺層の仕事に就くしかなく、お金も活路もないという、現代社会の歪んだ価値観を反映している。

大学受験のスローガンはすでに高校生の学習・生活の一部であり、与える影響力は非常に大きい。決して軽んじてはならず慎重でなければならない。

5. おわりに

これまで挙げたスローガンからも見て取れるように、現在の中国の大学入試は程度の差こそあれ「受験教育」の評価傾向を反映している。学生の全人的な資質の評価は軽視され、「高校生活」は「受験生活」に等しい。今後は2003年から始まった“自主招生”⁴⁾がどのように広がっていくかにも注目したい。

一方、日本の大学入試は選抜機会の複数化で、入学の機会や選択肢は中国と比べはるかに多い。一般入試のほか学業以外でも高校生活で頑張ってきたことが評価される学校推薦型選抜や、大学で何を学びたいか高校生活での努力が評価される総合型選抜などもあり、高校生にとって「高校生活」イコール「受験生活」というわけではない。もちろん日本でも難関大学や医学部への進学には依然として猛勉強が必要なことは周知のとおりである。

【参考文献】

- 陈泽光 〈我国高考制度变迁研究〉《教学与管理》2019年4月20日
张清 〈谨防高考备考宣传标语的“污名化”〉《师道》2019年第4期
本刊编辑部策划 舒曼执行 〈奋斗的青春谁来铭记?〉《高中生之友》2016年中旬刊
谢玲玲 〈多元智能理论视角下的高考标语分析〉《科教导刊》2015年11月
王传涛 〈高考标语很暴力?〉《中学生百科:悦青春》2014年
新中国高考制度如何建立? 最初考什么, 什么时候考? 和你想的不一樣 (baidu.com)
新高考制度内容是什么_高考网 (gaokao.com)
中国教育概况—中华人民共和国教育部政府门户网站 (moe.gov.cn)

【注】

- 1) <https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=6JFDKTHF9L8>
中国 過去最大規模の受験生 “人生を左右する”大学入試 (2023年6月7日)
YouTube ANNnewsCH

中国の大学入試に関する“校园标语”の考察

2) <https://www.youtube.com/watch?v=HxAnydOVEf4>

【特集】中国大学統一入試 若者の人生は“一発勝負” 約1300万人壮絶な競争実態—YouTube

3) 2023年は大部分の地域で6月7日、8日に実施されたが、上海や浙江省などの“3+3”方式の地域では6月7日～10日、“3+1+2”の江蘇省、広東省では6月7日から9日に実施された。

4) 日本の都道府県にちかい。

5) 中国も2003年から一部の大学で独自の入試（“自主招生”）が実施可能になった。しかし実施大学も募集定員数も全国的にみれば非常に少ない。中国で高校から大学へ推薦（“保送”）されるためには在学中の学業成績が優秀、かつ総合的な資質にすぐれ、学力競技、芸術、スポーツ等の受賞歴があること、品行方正、健康あることが求められ、さらに英語力や芸術方面の特別な条件を求められることもある。また出願可能な特定の高校に在学していなければならず、出願後も大学での審査がある特別な入試であり、学校長の推薦で合格につながる日本の学校推薦型選抜とは異なる制度である。したがって依然として中国の大学入試は“高考”が合格者選抜の基本である。

6) <https://news.yahoo.co.jp/articles/b09950b220c34a9a72a1745762a3e0f098153d71>私立大の合格者、約4割が「学校推薦型選抜」に【大学受験の基礎知識】

* 本稿の下記スローガンの写真はウェブサイトからの引用であるが紙幅の関係から個々の写真の引用元URLは省略した。

A ポジティブ、前向き思考型

1) 给自己一个目标, 让生命为它燃烧



2) 宁吃百日苦, 不留终生憾



3) 拼高三一年, 赢无悔人生



4) 高考不退却, 逆袭全世界



中国の大学入試に関する“校园标语”の考察

5) 今朝坚韧搏风浪, 明日清北校园聚!



6) 今天北大在梦里, 明日梦在北大里。



7) 冲刺二白天 卓立巅峰 决战二白天 我必成功



B 過激、衝擊型

8) 只要学不死，就往死里学



9) 有来路，没退路。留退路，是绝路。拼一个秋冬春夏，赢一生无怨无悔。



10) 得住给我扛；扛不住，给我死扛。



11) 要成功 先发疯 下定决心 往前冲!



12) 就算撞得头破血流，也要冲进本科大楼!



13) 流血流汗不流泪 掉皮掉肉不掉队



14) 提高一分 干掉千人



C ユーモア、ウィット、仰天型

15) 人丑还不多读书，哪儿来的自信？还玩，说你呢。



16) 吾日三省吾身，高否？富否？帅否？否，滚去学习！



17 考过高富帅 战胜官二代



18) 不拼高考，你拼得过富二代、官二代吗？



19) 进清华，与主席总理称兄道弟。入北大，同大家巨匠论道谈经。



20) 睡吧 玩吧 毕业一起收破烂吧



D “高考”当日の士気鼓舞型

21) 征战高考 凯旋而归



22) 风雨兼程高考路 一战功成展笑颜



23) 高考比什么都重要



24) 呐，米娜桑♥ 高考干巴爹



25) 沉着 冷静 超常发挥 祝全体考生考出好成绩

